

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22713
事業名	難病患者支援対策費					
評価担当課	所属名	保)保健所 健康企画課				
	課長名	西村 達也	担当者名	長尾 義教	電話番号	011-622-5153
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	難病患者等が保健・医療・福祉の総合的な相談や、在宅療養の適切な支援を受けることができる。患者の経済的負担の軽減を目的とし、特定医療費支給認定事務を円滑に行う。			
		長期	札幌市の実情に応じた難病患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び療養生活の質の向上が図られる。			
	取組内容	1 難病等患者に対する良質かつ適切な医療の確保及び療養生活の質の向上を図るため、在宅療養支援計画策定・評価事業などの各事業を実施する。 2 平成30年度から北海道より事務権限が移譲(大都市特例)された特定医療費の支給認定等事務(以下、「権限移譲事務」)を円滑に行う。				
	実施結果	1 難病患者等地域支援対策推進事業(在宅療養支援計画策定・評価事業24回実施。面接相談数3,324件、訪問相談数147件実施。医療相談会はオンラインで4回実施、149人参加。) 2 難病患者等地域啓発事業(難病ガイドブック6,000部発行。呼吸リハビリ教室はオンラインで2回実施、113人参加。 3 難病患者等ホームヘルパー養成研修(研修会の実施、養成数30名) 4 特定医療費支給認定等事務(認定患者数23,538人)				
事業実施における工夫点	平成27年1月に施行された「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、より効果的な事業を実施し、難病対策を充実させることを目指す。					
対象者	難病患者及びその家族と一般市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	平成27年1月施行「難病の患者に対する医療等に関する法律」					
他都市の状況	政令市では全て実施					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	5,636,411	6,425,581	6,090,129	6,304,761	
うち特定財源	2,835,969	3,156,551	2,843,131	3,094,702	
人工	0.0	0.0	0.0	7.0	
人件費	0	0	0	50,400	
計(事業費+人件費)	5,636,411	6,425,581	6,090,129	6,355,161	
事業費の内訳	令和3年度決算	○難病患者等地域支援対策推進事業 19,256千円(保健師報酬18,157千円、事業委託料887千円、その他212千円) ○難病患者等地域啓発事業 722千円(委託料400千円、ガイドブック作成費322千円) ○その他5,939,730千円(特定医療費 5,926,504千円、システム保守委託料12,738千円、ホームヘルパー養成研修488千円等)			
	令和4年度予算	○難病患者等地域支援対策推進事業 18,396千円(保健師報酬17,104千円、事業委託料887千円、その他405千円) ○難病患者等地域啓発事業 937千円(委託料400千円、ガイドブック作成費537千円) ○その他5,939,730千円(特定医療費 6,167,932千円、システム保守委託料13,478千円、ホームヘルパー養成研修489千円等)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	難病患者等在宅療養支援計画策定・評価事業の実施件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	17	30	24	30	
活動指標2	指標名	難病患者等面接相談件数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	2,920	3,000	3,324	3000	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	○難病に関する新規医療費助成申請者に保健師による面接相談を実施し、保健・医療・福祉に関する総合的な相談に応じた。 ○医療相談事業では、希少性難病をテーマの中に取り上げることで、より情報や交流を求める患者・家族のニーズに対応した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本事業は法令や国の規定に基づき、適切な規模で事業を実施できている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	医療相談事業など、事業の一部を北海道難病連札幌支部に委託していることで、難病患者・家族のニーズに則した効果的な事業展開ができている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	○北海道難病連札幌支部に委託している事業においては、患者・家族のニーズに則した内容となるよう情報共有を図っている。 ○面接相談事業においては、難病に関する医療費助成の新規申請者全員を対象としており、対象者の潜在的なニーズに対応する内容としている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	コロナ禍による事業効果の低減を最小限に抑えるため、各種事業の実施方法等の工夫が必要。また、平成30年度より開始している権限移譲事務についても、これまでの実績を踏まえ、より効率的に実施できる事務手法の改善等が必要。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	難病患者や家族のニーズを踏まえ事業を実施できていることや、権限移譲事務を着実に実行しているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 コロナ禍を踏まえた事業手法の工夫や、より効率的な事務手法の改善等を行う。			
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 受給者数の増加に伴い扶助費(医療費)が増加するため。		見直し効果額	0 千円